



知れば知るほど楽しくなる

2023.12

# OTARU HEART JOURNAL

「北海道の『心臓』と呼ばれたまち・小樽」  
～「民の力」で創られ蘇った北の商都～

アンケート  
特集号  
第2号



小樽市色内界隈(昭和初期) 写真提供:小樽市総合博物館

日本遺産候補地域

## 北海道の『心臓』と 呼ばれたまち・小樽

～「民の力」で創られ蘇った北の商都～

小樽市では、小樽独自の貴重な歴史文化遺産を日本遺産として登録するための取り組みを進めてきました。その結果、文化庁より「日本遺産候補地域」として認定され、現在本認定に向け取り組みを推進しています。本アンケートはその一環で、多くの市民の理解を促進するために行われます。

## ストーリーの概要

かつて小林多喜二は、小樽のまちを、北海道の「心臓」と表現しました。明治以降、港と鉄道の「大動脈」により、多数の物資と人が押し寄せ、石造りの商店や大型の倉庫などを造っていきました。明治後期には、大手銀行や商社の支店が進出し、経済の「血液」、金融の力で北日本随一の商都に飛躍して栄華を極め、運河をはじめ近代的インフラが「骨格」としてまちを支えました。

昭和後期、小樽運河保存運動を経て、まちを愛する市民たちの「民の力」で、ロマン溢れる歴史的建造物とまち並みの魅力が再発見され、カフェなどの飲食店、博物館等の文化施設に活用されていきました。かつての商都から、文化と観光の「心臓」に生まれ変わった小樽は、国内外から訪れる人々を魅了し続けています。

山折り(郵送の場合)

84円  
切手を  
貼って  
下さい

047-0031

小樽市色内1丁目9番6号  
株式会社オー・プラン内

日本遺産磨き上げ推進事業  
アンケート係 行

第2号

※無記名でも構いません。

【差出人】                      ご記入日                      年                      月                      日

ご住所 〒                      ー
お名前

山折り(郵送の場合)

✂キリトリ✂(郵送の場合)



Sub Story of Heart  
「北海道の心臓」サブストーリー

## 「民の力」の結集・運河保存運動から始まった 新たな小樽のまちづくりのスタート

小樽運河保存運動が目指していた運河の全面保存はされませんでした。一部は散策路として整備され、市民が再びまちに誇りが持てる観光都市として再生しました。その動きは今も脈々と引き継がれ、市民と行政、経済界が一体となる「小樽雪あかりの路」は今や北海道を代表とするイベントの一つに成長し、多くの市民や外国人ボランティアに支えられています。「民の力」は世界に広がりを見せています。全国から新天地を求めて人々が押し寄せた小樽では、私費による治療院や孤児院の運営などの福祉、厚生、障がい児教育へのとりくみなどの社会基盤を作ってきた「民の力」の歴史をもちます。小樽運河保存運動によって、まちの遺産が再評価され、まちづくりに活用している背景にはこの「民の力」の伝統が生み出したものです。運河を街のシンボルとして蘇らせ、まちづくりに生かし、これら遺産の魅力を伝える新しい活用の模索は、今も街の至る場所で始まっています。

山折り(郵送の場合)

✂キリトリ✂(郵送の場合)

日本遺産候補地域

## 「北海道の『心臓』と呼ばれたまち・小樽」

## 構成文化財のご紹介

※アンケートの回答は裏面の「アンケート回答」にご記入ください。



### 色内銀行街

明治末期から隆盛を極めた小樽を象徴する色内銀行街。今も半径500mの範囲に10棟もの銀行建築が建ち並ぶ様子は全国でも他に類を見ない景観となっています。

問1 色内銀行街の景観が好きですか？



### 日本銀行旧小樽支店 (市指定有形文化財)〈現 金融資料館〉

明治45(1912)年完成。辰野金吾らの設計で、当時の最先端技術を集結させた建造物で、現在は金融資料館として公開されています。

問2 日本銀行旧小樽支店金融資料館に入ったことはありますか？



### 旧三井銀行小樽支店 (国指定重要文化財)〈現 小樽芸術村〉

會禰中條建築設計事務所の設計で昭和2(1927)年竣工。大金庫室や地下貸し金庫室などを残し、現在は小樽芸術村として公開されています。

問3 小樽芸術村に入ったことはありますか？



### 旧第百十三国立銀行小樽支店 (現 オルゴール堂海鳴楼)

明治28(1895)年建築。堺町通りに建つ、瓦屋根に飾りの和洋折衷の建物。銀行のシンボルである分銅模様のレリーフも。

問4 堺町通りに行ったことがありますか？



### 旧三菱銀行小樽支店 (現 小樽運河ターミナル)

大正11(1922)年建築。「色内銀行街」のほぼ中心に位置し、1階正面に並ぶ6本の半円柱が特徴的な建物です。

問5 1階のショップに行ったことがありますか？



### 旧安田銀行小樽支店

昭和5(1930)年建築。富士銀行が継承した後、昭和45年から新聞社の社屋として使われていました。重量感あふれる円柱が特徴の、昭和初期の典型的な銀行建築です。

問6 道路の拡幅によりこの建物が移動されたことを知っていますか？

インターネットからもご応募できます



### ◆ アンケートのご記入について ◆

日本遺産候補地域「北海道の『心臓』と呼ばれたまち・小樽」を推進するために、本認定に向け令和3年度よりさまざまな取り組みを行なっています。小樽が持っている質の高い歴史文化情報を、市民の皆さんが深く理解し今後も大切に育み将来に残し伝えていくために、現状の認知度を知り、どのように向上させるのかを検討するためのアンケート調査です。ご理解の上、ご協力をお願いします。  
**アンケートの締切/令和6年1月15日** ※期日を過ぎたアンケートは次号の集計に含まれません。

あなたが参加する  
我がまちの  
サブストーリー

### 第1号に寄せられたアンケートより

第1号には227通のアンケートが寄せられ、たくさんの「あなたの家やお店のお宝エピソード」が集まりました。その中から一部をご紹介します。  
※文章は、原文のまま掲載しています。個人の記憶に基づくものであり、一部史実と異なる場合があることを予めご了承ください。

●奥沢に住んでいて父は桶屋の職人です。酒作り、みその工場があり忙しくしていたと思います。風呂桶、おひつ、風呂、漬物たるいろいろの注文があったようです。小学生の頃奥沢～長橋加工場まで飯寿司たる、助子たるを運んだ良い思い出です。〈小樽市幸・70代・女性〉

●曾祖父は北前船の船頭でした。明治時代の日記が残っています。曾祖父の兄が先に北前船の船頭でその下で稼いで自分の船を持ったそうです。北前船が立ち行かなくなって味噌醤油製造に転換しましたが第二次世界大戦のころ廃業しました。子供のころ「招福丸」持ち船の旗を見たことがあります。〈小樽市若松・60代・男性〉

●子供の頃は祝津に住んでいた。祖父などは市街地に出るときは、「小樽に出る」と言っていた。当時の「小樽」はデパートも何件もあり、買い物に連れて行ってもらうのが嬉しかった。帰り道、厩からnipnの前はアスファルトではなく石畳で、nipnの中を通っていた記憶があります。〈小樽市色内・50代・男性〉

●実家は木造平屋建ての古い建物でしたが父が生まれた昭和の頃に『もやし屋』を営んでいてとても繁盛していたらしいです。思えば戸のガラス部分に屋号が書いてあったり、裏口の物置場には骨董品で見えるような秤があったのを覚えています。今も捨てずに残しておけばもしかしたらお宝だったかもと思います。〈小樽市朝里・40代・女性〉

●小・中学生時代北運河でイワシ・サバ釣りをしました。大学時代は第3倉庫の隣にあったトーモクさんでアルバイト時に、ボート部の部員が夕暮れの中港の中で練習してました。この間第3倉庫でがらがら一斗缶がベルトコンベアで運ばれる工場を見学することができました。また、オタモイ海岸まで当時中央バスさんがバスを運行していましたので、整備員をしてました。本閣が焼失後一部の竜宮閣が残っており大変なにぎわいでした。〈小樽市銭函・80代・男性〉

小樽文化遺産  
ポータル



✕キリトリ✕ (郵送の場合)

## アンケート回答

- 問1 色内銀行街の景観が好きですか?  
 好き  好きではない
  - 問2 日本銀行旧小樽支店金融資料館に入ったことはありますか?  
 ある  ない
  - 問3 小樽芸術村に入ったことはありますか?  
 ある  ない
  - 問4 堺町通りに行ったことがありますか?  
 よく行く  たまに行く  あまり行かない
  - 問5 1階のショップに行ったことがありますか?  
 ある  ない  ショップがあることを知らない
  - 問6 道路の拡幅によりこの建物が移動されたことを知っていますか?  
 知っている  知らない
  - 問7 小樽のニシンを食べますか?  
 よく食べる  たまに食べる  食べない
  - 問8 小樽がホタテの一大産地であることを知っていますか?  
 知っている  知らない
  - 問9 小樽の蕎麦を食べますか?  
 よく食べる  たまに食べる  食べない
  - 問10 本紙を読んで小樽の歴史への理解が深まりましたか?  
(いずれかの番号に○印をお願いします。)
- |         |   |   |   |         |   |   |   |   |      |
|---------|---|---|---|---------|---|---|---|---|------|
| 1       | 2 | 3 | 4 | 5       | 6 | 7 | 8 | 9 | 10   |
| 深まらなかった |   |   |   | どちらでもない |   |   |   |   | 深まった |
- 問11 「日本遺産」という言葉を聞いたことがありますか?  
 聞いたことがある  聞いたことがない

✕キリトリ✕ (郵送の場合)

のりしろ

谷折り (郵送の場合)

- 問12 「北海道の『心臓』と呼ばれたまち・小樽」というフレーズを聞いたことがありますか?  
 聞いたことがある  聞いたことがない
  - 問13 このロゴマークを見たことがありますか?  
 見たことがある  見たことがない
  - 問14 小樽は歴史を活かしたまちづくりをしていると思いますか?  
 思う  思わない
  - 問15 あなたは小樽への愛着や誇りをお持ちですか?  
(いずれかの番号に○印をお願いします。)
- |    |   |   |   |         |   |   |   |   |    |
|----|---|---|---|---------|---|---|---|---|----|
| 1  | 2 | 3 | 4 | 5       | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
| ない |   |   |   | どちらでもない |   |   |   |   | ある |



谷折り (郵送の場合)

小樽の明治から大正・昭和にかけてのものやこと、エピソードなど、直接知っていることや、伝え聞いたことなど、些細なことでも結構ですので、教えてください。(寄せられたエピソードは今後誌面でご紹介させていただくことがあります)

あなたの家や店のお宝エピソード

谷折り (郵送の場合)

のりしろ

↑ FAX 送信方向

《居住地》  小樽市内  小樽市外 《性別》  男  女 《年齢》 歳

谷折り (郵送の場合)

のりしろ



小樽と言えば  
**ニシン**

江戸時代から始まったニシン漁は、明治30年頃にピークを迎えます。産卵時期にはオスの子で海水が真っ白になる『群来』も見られ、ニシンがもたらした富は現在も小樽の財産となっています。

問7 小樽のニシンを食べますか?



『おタテ』ブランドでますます人気の  
**ホタテ**

祝津沖で養殖の事業化に成功した後、漁獲量も市内漁業のトップ水準まで成長。小樽産ホタテを『おタテ』とネーミングし、飲食店フェアなど、地域ぐるみでブランド化を目指しています。

問8 小樽がホタテの一大産地であることを知っていますか?



はじまりは明治初期  
**蕎麦**

市内の現役最古参店は明治27年創業。数ある老舗店に新たな店も加わり、歴史の香漂う町並みに蕎麦屋のたたずまいがよく似合います。ニシンそば、群来そばなど小樽ならではのメニューも。

問9 小樽の蕎麦を食べますか?

写真提供:小樽ホタテブランド化推進協議会

写真提供:塚田敏信

アンケートの回答は上記の「アンケート回答」にご記入ください。



小樽食文化探訪「おいしい小樽めしをどうぞ!」



## 小樽の価値創造を追求し 小樽への投資を呼び込み 小樽の街づくりに貢献してまいります。



### 株式会社 渋谷建設

〒047-0031 北海道小樽市色内1丁目6-25  
TEL.0134-27-6000 FAX.0134-27-6001 営業時間/9:00~18:00 定休日/土・日・祝  
https://shibuya-k.co.jp



旧 第四十七銀行小樽支店  
(現 株式会社渋谷建設本社)

本紙に掲載されている写真のうち、提供元が記載されていない写真については、小樽市日本遺産推進協議会または本紙編集部が所蔵写真です。